

日本環境教育学会と日本環境教育フォーラムの共催企画  
教室で使えるアクティブ・ラーニング ワークショップ

2018年8月24日（金曜日）10：00～15：00

アクティブ・ラーニングに魂（たましい）と技（わざ）を吹き込む  
—環境教育で育まれてきた学習者中心の場づくり—

日本環境教育学会と日本環境教育フォーラム（JEEF）の共催で、教室で使えるアクティブ・ラーニング ワークショップを開催します！

このワークショップでは、講師を川嶋 直、諏訪 哲郎、中野 民夫の3人が務め、学校教育の流れの中に環境教育のエッセンスを織り込みつつ、子どもたちの個性と主体性を尊重したアクティブな授業を展開するためのヒントを探ります。

アクティブ・ラーニングの「型」ではなく、本当に子どもたちの栄養になる学びをつくっていくための肝（＝魂）と、それを実践するための技を身に付けて、夏休み明けの教室を変えてみませんか？

<プログラム>

1. 基調メッセージ：

『学校教育 3.0』時代に求められるアクティブラーニングとは

2. 魂と技を吹き込む環境教育ワークショップ

パート1：「KP法」プレゼンテーション

パート2：「えんたくん」ミーティング

3. 学習者中心の場をつくるファシリテーションのスキル・考え方とは

場 所：東京学芸大学 北講義棟（N棟）N304 教室

参加費：5,000円

定 員：60名

講 師：諏訪哲郎（学習院大学文学部教授）

中野民夫（国立大学法人東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）

川嶋直（公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長）

主 催：一般社団法人日本環境教育学会

共 催：公益社団法人日本環境教育フォーラム

申込フォームは 日本環境教育フォーラムのサイトから